

特集 Special Topics

清瀬市内の

銭湯に行ってみよう!

家庭にお風呂が普及していなかった時代、人々の生活の一部となっていた銭湯。地域の人々が集う銭湯は入浴のためだけでなく、人々のコミュニケーションの場としても重要な役割を担っていました。昭和40年代、清瀬市内には現在も営業している銭湯の他に、松籟湯(竹丘)、新盛湯(野塩)、清の湯(松山)、宝湯(中里)があり、合

わせて7軒の銭湯が営業していましたが、現在は3軒にまで減っています。大きな煙突や宮造りの建物、広い湯船に湯上がりのコーヒーマル……銭湯には、家のお風呂にはない魅力がたくさん詰まっています。新しい年を迎えた今こそ、おめでたい富士山のペンキ絵を見ながら広いお風呂に浸かって、「古き良きもの」の魅力を感じてみませんか。

スタンプを集めて入浴券を当てよう

「銭湯初夢スタンプラリー」を実施

日ごろの感謝と、銭湯未経験の方に銭湯を体験していただくため、市内の銭湯ではスタンプラリーを実施します。各銭湯で期間内にスタンプを2つずつ押してもらった方のなかから抽選で12人の方に、東京都内の銭湯で使用できる共通入浴券5枚をプレゼント!



配布するスタンプ台紙

実施期間 1月8日(日)～1月29日(日)

スタンプ台紙 市内各銭湯で配布(数に限りがあります)

※スタンプをすべて集めたら、市内のいずれかの銭湯へ直接提出してください。後日抽選し、当選者には当選通知をお送りします。詳しくは各銭湯へお問い合わせいただくか、店頭ポスターをご覧ください。

広～いお風呂に入って気持ち良い新年を!

各銭湯の年始の営業時間

市内の銭湯の年始の営業時間は、下表の通りとなります。

	1月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
喜多の湯	午前9時～午後1時(朝湯)			休み			通常営業
伸光湯	休み	午前8時～正午(朝湯)	通常営業	休み	通常営業	休み	通常営業
峰の湯	休み	午前10時～2時(朝湯)	休み				通常営業



浴室のペンキ絵は職人さん、芸人さん、ご主人の合作



必見のマッサージ機

レトロな雰囲気も魅力なのですが、浴室もロビーもピカピカに磨かれています。「お客様をお迎えるのだから当然です」という久美子さんは、休日に自らロビーの床をワックス掛けします。



仲良し夫婦が切り盛りする昔ながらの銭湯

伸光湯

所在地 中里4-1347-2
電話番号 491-4172
営業時間 午後3時30分～8時(月・水・金曜定休)



来店者を迎えるカウンター。向かい側には人々が集うロビーがある

「年を重ねるとこの仕事は大変ですが、一度もやめたいと思っただけはありませぬ。この仕事は天職だと思ってるんです」という神保さん夫妻。昭和の風景そのままのレトロな雰囲気と、2人が創り出す癒しの空間は、「家の近くに、こんなに素敵な場所があったんだ」と実感させてくれることでしょう。

仕事を愛する2人が創る癒しの空間



神保さん夫妻

レトロで美しいお風呂屋さん

中里・清瀬橋付近にある、昭和40年開業の伸光湯。銭湯の息子・娘同士で結婚したという神保さん・久美子さんが、入籍して3日後に開業して以来、夫婦二人三脚で営業しています。

コミュニケーションの場としての役割

伸光湯は常連さんの憩いの場として親しまれており、お客様も顔見知りが多いといわれています。以前、ずっと来店していた高齢のお客様が突然来なくなったため、心配した久美子さんが警察に連絡したところ、自宅で1人寝込んでいたところを発見されたということもありました。高齢者の孤独死などが問題になっている現代、伸光湯は重要な役割を果たしています。

今の時代だからこそ、銭湯に行ってみませんか? 現代は、ご近所付き合いが希薄になってきているといわれます。「起きてから眠るまでほとんど会話をしない」「1日を過ごす方もいるそうです。また各家庭にお風呂が無かった時代、人々は銭湯に通いました。そこで近所の人々は顔を合わせて会話をし、子どもたちは老若男女が集う銭湯でマナーを学びました。俗に言う「裸の付き合い」です。今の時代だからこそ、銭湯に行ってみませんか? 目的がコミュニケーションでなくても構いません。家のお風呂よりも広い湯船で、足を伸ばしてリラックスしてみたい方が多いでしょう。

銭湯に通っていた世代には懐かしさ、銭湯を知らない世代には馴染みのないであろう設備の数々。清瀬の銭湯では現役で活躍中です!



峰の湯の一番のウリは電気風呂。筋肉系の怪我やコリに効果があります。電気風呂を実施している銭湯は多いので



お家のリビングのようなロビー

「強めの電気風呂で体のコリをほぐそう」

竹丘都営住宅のほど近く、商店街の一角に「峰の湯」があります。隣には焼き鳥店道を挟んで向かいにはスーパーマーケットがあり、地域の生活に密着した存在であることがうかがえます。峰の湯のフロントでは焼き鳥の注文を受け付けており、入浴中に隣の焼き鳥店で焼いておいてもらえるそうです。

「水質にこだわった肌に優しいお湯」

湯船は通常のものの他に、白のお湯の「シルク風呂」があります。白く見える正体は「超微細気泡」という極めて細かい泡。この泡のおかげで、肌に刺激を与えずに洗



「ケロリングッズを買う」

清瀬駅北口を出て徒歩数分、清瀬けやきホールの向かい側にあるのが「喜多の湯」です。昭和35年創業と、市内3軒の銭湯のなかでは最も歴史がありますが、とてもきれいな外観が印象的です。なかに入ってみると飛び込んでくるのが、さまざまな種類の石鹸・シャンプー・タオルなどのアメニティグッズと、銭湯の黄色い桶でおなじみの「ケロリン」グッズの数々。どちらもご主人の本橋健司さんと妻の恵子さんが夫婦で楽しみなと考え、取り揃えています。「ケロリン」グッズが買えるのは、都内の銭湯では喜多の湯だけだそうです。



大きなロッカーのある脱衣所。外には休憩スペースもある



洗い場。男湯・女湯ともレイアウトは同じで、タオルの色が違う

「気さくなご主人と名前の由来」



峰の湯

所在地 竹丘1-10-8
電話番号 493-5555
営業時間 午後3時～10時30分(火曜定休)



喜多の湯

所在地 元町1-7-7
電話番号 493-0123
営業時間 午後3時30分～10時(金曜・第3木曜定休)



広い浴場。男湯と女湯のちょうど真ん中あたりには「清瀬から見た富士山」が描かれている

浄効果が期待できるんだとか。もともと喜多の湯では肌への刺激が少ない軟水を使用しているため、肌が弱い方におすすりだそう。ちなみに、男湯が「シルク風呂」の場合、女湯は血液の流れをスムーズにする効果などがある「炭酸温泉風呂」になります。喜多の湯では男湯と女湯を一周間に一度入れ替えているため、どちらのお風呂も楽しむ事ができます。一度だけではなく、何度も行きたくありませんか。



お客さんには笑顔で来て笑顔で帰ってほしいという村山和利さん

「銭湯に行ったら知らない人にはぜひ銭湯に来てほしい。魅力を知ってほしい」という本橋さん夫妻。「銭湯初心者の方、システムがわからない方はお気軽にお声掛けください」とのことなので、「銭湯に興味があるけれど、ちょっと敷居が高い」と感じている方も一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。



初めての方もお気軽にお越しください。本橋健司さん・恵子さん